

令和8年3月17日

令和8年3月定例記者会見

三次市出身の国際協力の先駆者を題材にした絵本 「国境を越えたタコ壺」の完成について

本市出身でモーリタニア・イスラム共和国においてタコ壺漁の技術を普及させ、同国の経済発展に大きく貢献された中村正明さんの功績を題材とした絵本が完成しました。

この度、市内保育所・小中学校等に絵本を配布し、子どもたちが国際協力や異文化理解について学ぶ教材として活用していきます。

配布予定部数:1,000 部

【中村正明さんについて】

- ・1948年 三次市上川立町に生まれる
- ・1971年 青年海外協力隊 漁業隊員としてケニアに派遣
- ・1978年 モーリタニアの首都ヌアクショットに居住し、専門家3人を率いて漁業指導を始める
- ・1983年 「タコ壺漁」を導入し普及を図る。現在は、タコを含めた水産物の輸出量が4分の1を占める
- ・1985年 7年間のモーリタニア滞在を経て、帰国
- ・2010年 国家功労賞(騎士勲章)を授与される



広島県三次市

地域共創部 共生社会推進課 共生社会推進係 (担当:渡部・水本)
TEL:0824-62-6242 FAX:0824-62-6235